

## 産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和4年6月16日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和4年6月16日（木）午前10時27分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員

2番 鼻岡 美保君	7番 佐々木雄司君	11番 治徳 義明君
13番 金谷 文則君	16番 佐藤 武文君	18番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者

市長 友實 武則君	副市長 前田 正之君
産業振興部長 是松 誠君	建設事業部長 高橋 渉君
農林課長 矢部 勉君	商工観光課長 大崎 文裕君
地域整備推進室長 森本 祐司君	建設課長 福圓 章浩君
上下水道課長 中務 浩行君	農林課参事兼 地域整備推進室参事 熊山支所 産業建設課長
赤坂支所 産業建設課長 吉井支所 産業建設課長	三田 義雄君 砂子 武久君
岡田 浩司君	
- 7 事務局職員出席者

議会事務局長 土井 常男君	副参事 野田 順子君
---------------	------------
- 8 協議事項 1) 令和4年度事業の補正について  
2) その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） それでは、皆さん、おはようございます。

ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

換気のため、委員会室の出入口と窓については開けたまま進めさせていただきたいと思しますので、御協力のほどお願いいたします。また、会議の時間短縮に心がけたいと思しますので、執行部の説明及び委員の質疑につきましては明瞭簡潔をお願いいたします。

初めに、友實市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、大変御多忙の中、産業建設常任委員会をお開きいただきましてありがとうございます。

本日、本委員会で協議いただく事項といたしましては、令和4年度事業の補正予算の関係分、それから事業の進捗状況等について御協議をさせていただこうということでございます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、本日は付託案件がございません。そのため、所管事務調査のみを行いますので、よろしくお願ひをいたします。

これから協議事項に入ります。

まず、令和4年度事業の補正について、執行部の説明の後、質疑を行いますので、よろしくお願ひをいたします。

なお、5月27日開催の議会全員協議会におきまして、予算常任委員会ではそれぞれの常任委員は所管部分に関しての質疑を原則として行わないようにという申合せをしておりますので、この委員会で十分御確認をいただきますようお願いいたします。

それでは、令和4年度事業の補正について、執行部より説明をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設事業部の建設課、1番の令和4年度事業の補正について、建設課から説明させていただきます。

補正予算説明資料の12、13ページをお願いいたします。

令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）につきまして、8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費として、市道の維持補修工事としまして舗装修繕工事と交通安全施設整備工事を予定しており、舗装修繕は起債事業、交通安全施設整備は国庫補助事業の割当て内示が

あり、財源の確保ができたことによりまして、工事請負費を4,124万8,000円増額する予定としております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、執行部の説明が終わりましたので、質疑のほうに入りたいと思います。

今定例会で提出されている補正予算案に関する事業につきまして質疑はございませんか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほどの説明の中で、維持補修工事費4,124万8,000円ですか、この内訳というのは、我々のところには資料提示はしていただけないのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 内訳としましては、舗装修繕工事で2,000万円、交通安全施設整備工事としまして2,124万8,000円を予定しております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） その内訳はよろしいんですけど、設置場所あるいは修繕箇所についての場所についての御報告をいただきたいんですけど、それは報告はいただけないのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 舗装修繕工事の場所ですが、今予定しておりますのは、主な路線として桜が丘西の4丁目交差点付近と西山団地の入り口の付近、それから高屋地内の市道下市日古木線、それから桜が丘西9丁目地内の市道の部分補修を予定しております。

それから、交通安全施設整備につきましては、馬屋下市線の下市あたりの歩道整備とそのほかの部分の車両防護柵設置、それから下市日古木線の歩道の検討の業務、それから桜が丘地内の路面標示と車両防護柵設置を予定しております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほど説明をしていただいたんですけど、やはり委員会にはそういうふうな詳細なことについてある程度資料を我々のところに提示をしていただくように、これ、要望しておきたいというふうに思います。内容については、詳しくはよろしいんですけど、設置箇所等については、やはり担当常任委員会には報告をするようにしていただきたいと思いますので、これ、要望しておきます。

○委員長（金谷文則君） どうですか。必要だと私も思うんですが、今の御要望についてのお答えがありますか。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 今お話のありました件について、どういう形、確かに分かりやすい説明が必要だと思いますので、そのあたりこちらのほうでまた案をつくりまして、御相談をさせていただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） はい、結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、ほかに質疑はないので、続いてその他について進めていきたいと思います。

その他につきまして、執行部より説明をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、その他の御説明でございますが、産業振興部の資料の1ページを御覧ください。

まず、1、その他、(1)は、がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金でございます。農業販売額が減少した農業者に対して交付する支援金でございます。ただいまの中間の状況の数字の御報告は、ここにお示ししておりでございます。

それから、(2)のがんばろう赤磐コロナ対策農業収益向上補助金。

これにつきましては、農業機械等の導入に対する補助でございます。これも数字をこのようには中間で御報告いたしておりますけれども、これら事業につきましては、現在ほぼ計画どおりに進捗しております。

それから、(3)STOP鳥獣被害集落連携事業でございますけれども、これは、詳細な資料が2ページから5ページにわたります。特に4ページ、5ページはA3になっておりますけれども、これを開いて御覧ください。

まず、今年度の鳥獣被害防止対策協議会におきまして実施予定の事業でございます。

有害鳥獣による農作物被害は、市内全域で発生している状況でございます。従来から行われております捕獲対策や防護対策からさらに踏み込んだ対策の実施が求められております。また、鳥獣被害の対策は、地域の農業の行く末を左右する大きな課題でございます。そこで、各地区で行いましたアンケート等の結果から重点的に対策を実施する地区を選定しまして、推進支援を行う予定としております。事業内容等は、資料を御覧のとおりでございますけれども、アンケートの調査の結果から集落を選定しまして、防護対策、それから捕獲対策を実施してまいります。さらに、支援実施後に事業の目標と効果の評価や検証を行います。具体的な支援対象は、3ページのほうを御覧のとおりでございますけれども、イノシシ、鹿に加えまして、今年度もカラスを予定しております。

資料の4ページを御覧ください。A3サイズになります。

4ページから5ページは関連資料となりますが、これらは捕獲事業、防護柵設置事業、狩猟者確保事業の3点についての統計資料となっており、令和3年度までの実績の御報告でございます。

①の有害鳥獣捕獲事業でございますが、4ページ、下の赤磐市の地図が3つ並んでおります。左から御覧いただきまして、捕獲頭数を御覧いただきますと、イノシシが1,214頭、鹿508頭、猿9頭と、主要獣種3種については御覧のような捕獲頭数となっております。年度別の比較につきましては、地図の上側に棒グラフでお示ししております。

それから次に、5ページの上側の②の防護柵設置事業を御覧ください。

過去に設置しておりました地域での張り直しの更新事業も落ち着いた状況でございます。新規の設置についても、前年と比較して多少の減少傾向でございます。

それから次に、資料の下側、③の狩猟者確保事業でございますけれども、円グラフを御覧いただきますと、狩猟者の平均年齢につきまして、わな猟は63.7歳、銃猟は62.7歳ということで、前年と比較しますと平均年齢が若干上がっております。獣害に対して防御力を維持していく必要がございますので、引き続き若い世代への技術伝承や担い手の確保に注力してまいりたいと考えております。

以上、農林課からのその他の御報告でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いて、お願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課のその他につきまして御説明いたします。

産業振興部資料6ページをお願いいたします。

(1)がんばろう赤磐コロナ対策飲食店感染防止奨励金につきましては、令和3年度からの継続事業でございます。6月1日現在、令和3年度からの累計で交付決定数48件、交付決定額は960万円となっております。内訳につきましては、令和3年度分が45件、900万円、令和4年度分が3件、60万円となっております。

続きまして、(2)あかいわ創業塾につきましては、市内での創業促進を目的に、創業を考えている人、創業5年未満の事業者を対象に、必要な知識、ノウハウなどを取得するため、中小企業診断士や商工会職員による講座を実施するもので、本年度につきましては年間3コースの創業塾を計画をしております。今回、第1弾といたしまして、仕事終わりの方などのため短期短時間コースを設定しまして、6月29日から約1か月の間で経営、財務、販路、人材育成の講座を4回開催します。全て受講された方に修了証を事業委託先であります赤磐商工会より交付いたします。また、修了証を交付された方につきましては、赤磐市が証明書を発行することによりまして、会社設立時の登録免許税の2分の1の軽減、それから信用保証協会の保証枠の拡充などの特例を受けることができます。

資料の7ページにチラシを、それから8ページに平成27年度からの事業の実績を添付しておりますので、御確認いただけたらと思います。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして、建設事業部もお願いをいたします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 続きまして、建設事業部資料を御覧ください。

2、その他について、地域整備推進室から次第の(1)第5回赤磐市立地適正化計画策定等検討協議会の開催についてでございます。

5月の常任委員会において、検討協議会の開催日程の調整を行っている旨の報告をさせていただきましたが、7月13日水曜日に開催することとなりました。内容につきましては、5月の委員会で御説明したとおり、これまでの検討結果の中間取りまとめを行うとともに、新拠点エリアに誘導すべき都市機能を検討していく予定にしております。会議資料などにつきましては、協議会終了後になりますが、委員会にて配付させていただきます。

地域整備推進室からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして、お願いいたします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 続きまして、その他の2番目としまして、排水ポンプ訓練に

ついでのお知らせをさせていただきます。

昨年、一昨年に市のほうで購入いたしました可搬式ポンプユニット、こちらの操作技術を習得し、浸水被害の対応、これに努めるための訓練といたしまして、7月20日水曜日午前10時から11時、場所は熊山の天神排水機場のほうで訓練を行いますので、御案内させていただきます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

ただいまの説明につきまして質疑がございましたらお願いをいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金についてお伺いしたいんですけど、相談件数が160件で交付決定が73件。要するに、交付決定が相談件数の半分以下のような状況なんです。このことについて、何が原因であるかということについて御報告いただきたいということと、何回も申し上げておりますように、大規模農家の方にとっては交付申請するのにどちらかといえば申請しやすい状況にある、小規模農家の方々にとっては非常に申請がしづらいのではないかと、このことについて親切丁寧に説明責任を果たしていただきたいということを何回も申し上げておりますけど、そのことについて、申請がしづらいという状況はあるのかなのか、そのことも含めてお伺いさせていただきたいというふうに思います。

それから、もう一点、農業収益向上補助金について、これ、相談件数が112件に対して交付決定が13件。交付決定が非常に少ないということの中に、私もいろいろな方からお叱りをいただきまして、反省もしておるわけでございますけど、補助額が50%というのは非常に低い。なぜその補助額を50%にしたのかということで、もう少し他の補助金と比較すれば、70%、80%にすべきではないかと。要するに、機械を購入しても、その機械が非常に高い、高いがために区の負担がたくさん必要になってくるというようなことの中で、やりたいけど区の負担が非常に高額になるということの中で、区民に負担を強いるような形になるというようなことの中で、非常にこの制度に対しては、よくないということでお叱りをいただいております。そういうことに対して、相談件数はかなり件数があるわけでございますけど、交付決定に至るまでには非常に少ない。何が原因かということについて御報告をいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐藤委員から御質問いただきました件でございます。

まず、がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金で、73件の交付決定で相談件数が160件

と。これですけれども、御相談いただいて、それから交付決定に至るまでは、事務手続もございますけれども、やはり関係の書類も御用意していただくとかそういったこともございますので、160件の中でまだこれから出されてくるという可能性のある方もたくさんいらっしゃるのので、これは中間の御報告ですので、今もまだ交付決定が積み上がってる状態です。この6月9日時点のお話ですので、まだ今後御報告もさせていただくと思っておりますので、経過を見守ってやっていただきたいと思います。

それから、先ほどおっしゃられた大規模の農家さんに比べて小規模の農家さんは申請がしづらいのではないかと、やっぱりいろいろ私たちも耳にします。できるだけ、コールセンターもございますけれども、職員には親切丁寧に、足りない、不足したその書類なども、こういったものが必ず必要ですと細かに説明をするように申しておりますので、そのあたりもう少し頑張ってやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それから、機械のほうの補助のことです。向上補助金につきましては、これもやはり相談件数が百十何件ありますけれども、交付決定が13件と。これも6月9日時点のお話ですけれども、数字的にはこれからまだ審査を経なければならぬので、積み上がっていく予定です。これ、やはり金額が高いものですので、一件一件が、審査にも時間を要しております。ですけれども、前、委員からもお聞きしましたけれども、周知がなかなか図られてないんじゃないかということで、集落の代表の方にもダイレクトメールでお知らせして、その反応も大分出てきておりますので、もう少し見守ってやってください。

それからあと、補助額50%にしたということですが、これが低いか高いかというのは、やはり議論になります。私どもでもかなり検討を、この制度を検討するに当たっては、かなり頭を痛めました。ですけれども、与えられたその予算の中で皆様にできるだけ使っていただくということを努力した結果でございます。今後においても、同じような、もしそういう施策を考えなきゃいけないことになりましたら、委員の貴重な御意見も参考に検討してまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） このがんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金とこの農業収益向上補助金については、これ、交付額が5,500万円交付されておったと思うんです。それが今現在、6月9日現在で約1,800万円。この1,800万円ほどしか交付してないということに対しては、非常にその5,500万円が私は余るのではないかなと。せっかく国のほうから赤磐市に対してそういうふうな交付決定がされた補助金が余るような結果につながるということは、施策として赤磐市のやり方が悪かったというふうな判断をせざるを得ないのではないかなというふうに、私

自身はそう思っております。そのことについて、どういうふうに判断されておられるかということについてお聞かせいただきたいと思っております。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐藤委員から御質問いただいた件でございますけれども、もちろん私たちも、せつかく与えられた予算でございますから、無駄にならないようにまだ頑張っております、周知も図っておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 1点確認をさせていただきます。

あかいわ創業塾、実績を平成27年から受講完了者数と創業者数というのを一覧でいただいているんですけども、見ますと、令和元年から創業者数がゼロが何年も続いているということ、これ、どういうふうに分析されてるのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 治徳副委員長の御質問です。

令和元年から、受講された方の創業が少ないというような御意見だったと思います。

これにつきましては、ゼロだったと思います。これにつきましては、令和2年、3年なんかはコロナの関係で、新規で創業される気持ちの方と、それから創業されて5年未満の方、こちらのほうの数字が半分半分ぐらいの受講の率でございました。コロナ禍でありますので、なかなか創業に踏み切れない方、創業をされた方の中でももうちょっと勉強したいなというような方がおられるのではないかというふうに分析をしております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○副委員長（治徳義明君） よろしいです。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

鼻岡委員、よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） はい。

○委員長（金谷文則君） よろしいですね、皆さん。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、質疑がないようでございますので、質疑はこれで終わります。次、次のその他のその他というところへ入りたいと思いますので、委員または執行部のほうから何かございましたら発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、ないようでございますので、次に閉会中の継続調査及び審査についての御確認をお願いしたいと思います。

お手元に配付しております継続調査及び審査一覧表のとおり、議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申出をしたいと思います。これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。それでは、このように申出をいたします。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りをいたします。

閉会中の審査及び調査案件の調査のため、委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会といたします。

閉会に当たりまして、前田副市長より御挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 本日はお忙しい中、産業建設常任委員会をお開きいただきましてありがとうございます。

本日は、令和4年度の事業の補正関係、そして事業の進捗状況、その他ということで御審査をいただきました。いただきました御意見を踏まえまして、今後の事業推進に進めていきたいというふうに思っております。どうもありがとうございました。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、本日の委員会を閉会といたします。

お疲れさまでございました。

午前10時27分 閉会